

その他、出展にあたってのお願い事項

- 企業・団体等の出展の場合、出展料による運営費への協力をお願いいたします。
- 出展内容については、申請時にお出しいただく調査票をもとに「青少年のための科学の祭典」全国大会実行委員会が確認し、そのうえで調整・是正を求めることがあります。
- 「青少年のための科学の祭典」は、出展ブースでの製品（商品）等の販売やデモンストレーション、またサンプル配布のみの出展、会員等の募集を目的としたイベントではありませんので、ご理解をお願いします。
- 出展にともなう会場（東京・科学技術館）までの交通費、宿泊費、実験材料費、運搬費等につきましては、出展各機関のご負担となります。
- 不特定多数の来場者があり、混雑する中で行うことを念頭に、安全面に十分配慮した出展計画をご検討ください。
- 火気・熱源・劇物・危険物の使用については、消防法等法規にもとづいた対応をいたします。是正が必要な場合は、演示内容・方法の変更等をお願いすることがあります。
- 飲食物を扱う実験の場合は、必ず事前に事務局にご相談ください。
- 開催前の準備段階および会期中に、出展演示実験等の安全な運営に関してのお願い、またはご注意をお伝えすることがあります。その際は遵守いただくようお願いします。

出展・開催までの流れ（2018年度予定）

4月16日（月）	出展申し込みにあたる「出展1次調査票」提出締切（必着）
4月25日（金）以降	「出展通知」「実験解説集執筆依頼」を事務局より送付
5月28日（月）	「実験解説集原稿」提出締切（必着）
6月22日（金）頃	「出展2次調査票」様式を事務局より送付
7月2日（月）	「出展2次調査票」提出締切（必着）
7月6日（金）頃	「最終連絡」（出展者マニュアル等）を事務局より送付
7月27日（金）	出展準備開始16：00以降
7月28日（土） ～29日（日）	一般公開（9：30～16：30）
7月29日（日）	16時30分終了後、撤去、梱包、搬出、および事務処理手続
7月30日（月）	搬出および宅配便による梱包物品の返送手配

出展に関する様式・資料等をご希望の方は、下記「科学の祭典」事務局にご連絡ください。
調査票様式（Excel）と、詳細要領を掲載した「団体出展の手引き」をお送りいたします。

出展のお申込み、お問い合わせは

青少年のための科学の祭典 事務局

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-1
公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部
TEL：03-3212-8447 FAX：03-3212-8449 E-mail：saiten@jsf.or.jp
青少年のための科学の祭典公式ホームページ <http://www.kagakunosaiten.jp/>

青少年のための科学の祭典2018全国大会

大学・企業・団体等による出展のご案内



©TRADE MARK REGISTERED

開催概要

- 開催日時：2018年7月28日（土）～7月29日（日） 9:30～16:30
- 開催場所：科学技術館 1階イベントホール・屋外（東京都千代田区北の丸公園 2-1）
- 主催：公益財団法人 日本科学技術振興財団
共催：「青少年のための科学の祭典全国大会」実行委員会
- 出展件数：70ブース程度を予定（個人出展30、団体出展30、研究発表10）
- 入場料：無料
- 来場者数：15,000人を予定（7,500人/日）

新たな「青少年のための科学の祭典」を目指して

「青少年のための科学の祭典」は、1992年夏、一人でも多くの青少年に科学技術の面白さを体験してもらうことを目的にスタートし、来年度は27年目を迎えます。この間、「青少年のための科学の祭典」はすべての都道府県を巡り、今では毎年全国70カ所以上で開催されるようになってきました。毎夏、科学技術館で開催される全国大会には、全国の実験名人や腕に覚えある匠たちが日夜工夫をこらした科学実験や科学工作を携え、一堂に会します。

たくさんの実験・工作に出会い、来場者が自らふれたり、作ったり、試したり、動かしたり、納得いくまで科学を楽しむことができる夏休みの恒例イベントとなった「青少年のための科学の祭典全国大会」。その“新たな「青少年のための科学の祭典」”を目指すため、より多様で力強い科学の魅力、技術の夢、ものづくりの醍醐味を発信できる場にしていきたいと私たちは考えます。

大学・企業・団体の皆様には、それぞれの機関の特色を打ち出しながら、個人出展とは一味違った、学校の理科だけでは学ぶことのできない手ごたえのある出展を期待いたします。例えば「遠い存在」に思える産業技術や研究成果をわかりやすく伝えたり、ブラックボックス化している商品に潜む技術や科学原理を示したり。楽しい実験や工作を通して、技術や研究の成果が「自分とつながっている」ことを実感できるような体験を提供し、将来を担う子どもたちに科学研究や技術開発の夢を伝える活動を、共に創っていきたく願っています。ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。

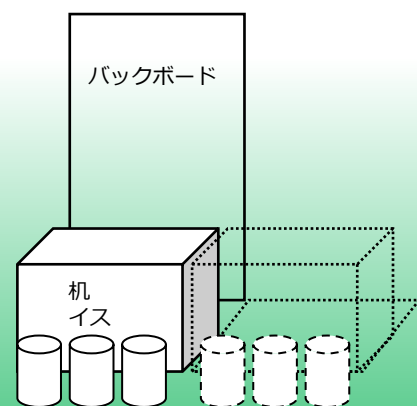
出展形式

①ブース出展 I 型 <基本演示型ブース>

・・・お祭りの出店のように、多くの来場者が入れ替わり訪れる型式です。

【ブースイメージ】

- 机 (W1800mm×D900mm×H750mm) を1台と貼り紙等ができるバックボード1枚 (H2400mm ×W990mm程度)、パイプ椅子3～6脚が使用可能です。
- 実験演示等のスペースはおおよそ3.24㎡～6.5㎡ (1～2坪) 程度です。
- 必要に応じて机を2台まで増やすことが可能**です (下図点線部分の増設)。
- 全体スペースの構成上、隣のブースと接近する場合があります。



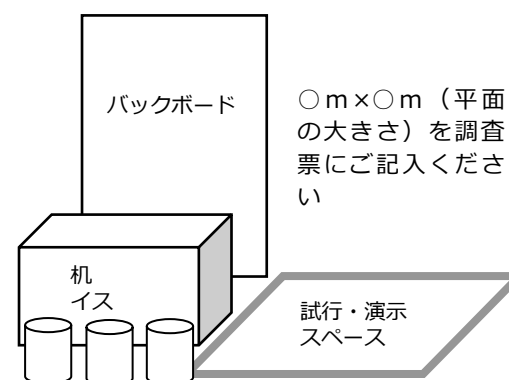
ブース配置イメージ①

②ブース出展 II 型 <試行スペース型ブース>

・・・机のすぐ脇のスペースで、製作したものなどを試行・演示等することが可能な型式です。

【ブースイメージ】

- 机 (W1800mm×D900mm×H750mm) を1台と貼り紙等ができるバックボード1枚 (H2400mm ×W990mm程度)、パイプ椅子3～6脚が使用可能です。
- 試行・演示スペースは必要最小限の広さをあらかじめ設定してください。**希望するスペースの広さを、「出展一次調査票」に必ず明記してください。**
- 試行・演示スペースは、他の出展と共用の場合があります。
- 希望スペースが大きい場合、出展を調整あるいは一部お断りする場合があります。



ブース配置イメージ②

③ブース出展 III 型 <その他>

- 上記のブース出展 I 型、II 型のいずれにも該当しない場合は、III 型となります。
- ワークショップ等を予定する場合は、III 型となります。
- 机4台・椅子24脚までを原則としますが、それ以外の場合にご相談ください。
- 機材の持ち込み等によるスペースのみの出展 (バックボードのみ) も可能です。

このほか、ステージ (ミニシアター) でのショー形式展開をご希望の場合など、事務局に遠慮なくご相談ください。

<ボランティア補助スタッフの配置について>

演示や指導を補助するボランティアスタッフ (高校科学部の生徒など) を配置することができます。科学が好きで来場者とのコミュニケーションにも意欲的な生徒たちにとっても、補助スタッフは意義ある経験となります。

出展にあたり「スタッフの確保がネック・・・」という場合には、お気軽に事務局にご相談ください。

出展料

- 出展料 (運営協力金) をお願いしております (10万円 (税別) より)。
出展料は、展示スペース、設備等により変動いたします。

<出展料に含まれるもの>

展示スペース/基礎小間設営費 (バックボード・机・椅子等の備品の用意、また必要に応じて電気コンセント・養生シート・耐火ボードなど) /会期中の空調費/共用施設の工事費および維持費/来場者プロモーション費/実験解説集への原稿掲載費/来場者サービスにかかわる費用 (会場案内などの制作) /事務局運営・安全管理/および昼食の用意など

- 小間位置につきましては、会場全体の構成に基づき、主催者が決定いたします。